

令和5年度 第1回八千代市新・放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会会議録

開催日時 令和6年2月1日（木） 午前10時から午前11時45分まで

開催場所 八千代市福祉センター 4階 第3・4会議室

- 議 題 (1) 委員長・副委員長の選出について
(2) 放課後子ども教室実施状況について
(3) 学童保育について

出席者名

出席委員	村石 有華	委員
	岡崎 留美子	委員
	関谷 大輝	委員
	八幡 和子	委員
	長島 秀一	委員
	木村 麻巴	委員
	土井 雅津代	委員
	久保田 文子	委員
	赤崎 有紀子	委員
	桑波田 和子	委員

事務局	島津 俊明	子ども部次長
	江波戸 雄一郎	子育て支援課主査
	須田 浩庸	子育て支援課主査補
	奥田 理恵	子育て支援課主任主事

会議内容 公開

傍聴人 1名（定員5名）

所管課名 子ども部 子育て支援課

江波戸主査	それでは定刻になりましたので、始めさせていただきます。本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。司会進行を勤めます、子育て支援課の江波戸と申します。よろしくお願いいたします。 本会議は、公開いたします。 また、会議録作成のため、音声を録音いたしますので、ご了承ください。発言の際でございますが、マイクのスイッチをONにして、赤いランプが点灯したことをご確認のうえ、ご発言いただきますようお願いいたします。 なお、ご発言後のスイッチのOFFは不要でございます。 ご協力のほどよろしくお願いいたします。 次に、傍聴人にお知らせいたします。配付資料につきましては、会議終了後に回収させていただきます。配付資料の交付を希望される場合は、費用をご負担いただきますので、会議後事務局までお申し出ください。 それでは、本日の会議に先立ちまして、子ども部 次長 島津から一言ご挨拶を申し上げます
-------	---

島津子ども部次長	皆様おはようございます。子ども部次長の島津と申します。 本来であれば、子ども部長の鈴木の方からご挨拶申し上げるべきところですが、本日鈴木が体調を崩しておりまして、私の方からご挨拶させていただきます。 本日はお忙しい中、委員の皆様におかれましては、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。 また、委員の皆様には日頃から当市の子ども行政にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。 さて国では、2019年に新放課後子ども総合プランを策定して、すべての子どもが放課後に安心安全に過ごせる居場所として放課後児童クラブと放課後子ども教室の整備を全国で進めることを示しております。 本市でも、放課後子ども教室として利用希望者が年々増加している放課後児童クラブ、八千代市では学童保育と呼んでいる放課後児童クラブですが、この需要増に対応する定員拡大を進めております。 本日の会議では、対策の具体的な内容と、多様化する保護者のニーズに対応するための、今年度、そして来年度に向けての市の施策を報告いたしますので、委員の皆様からは、忌憚のないご意見をいただけますようよろしくお願いいたします。 本日はどうぞよろしくお願いいたします。
江波戸主査	本日ご出席の委員は10名で、定足数二分の一を超えておりますので、本日の会議が成立したことをご報告いたします。 本日は、委員改選後、初めての会議でございます。委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいと存じます。村石委員から時計回りで、所属と名前と一言いただきたいと存じます。
村石委員	村石有華です。 私は今中学生の娘が1人いまして、4年前引っ越してきたのでこちらでは学童は利用したことがないんですけど、以前に住んでいた自治体ではフルタイムで働いていたので、3年間利用していてそういった視点から参加させていただきました。よろしくお願いいたします。
岡崎委員	岡崎 留美子です。 子どもは3人いまして、中学生、高校生、社会人として学童のお世話になる年齢の子はいないんですけど、子育ての経験が生かせればと思います。よろしくお願いいたします。
関谷委員	東京聖徳大学の応用心理学部の関谷と申します。以前は勝田台キャンパスだったんですけど今閉鎖になってしまって、東京の十条台に所属をしているんですけども、私自身が八千代ではないんですがスクールソーシャルワーカーとしても活動していて、学童に通っているお子さんの支援も行っております。八千代の状況をお伺いできればと思います。よろしくお願いいたします。
八幡委員	おはようございます。八千代市スポーツ推進委員の八幡と申します。 今回2期目ということでスポーツ推進委員をやりながら実は学童保育の補助員もしております。色々ご意見等学びながらやりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
長島委員	おはようございます。八千代市校長会を代表して、新木戸小学校の校長し

木村委員	ております長島と申します。 いつも本市の子どもたちが色々な面でお世話になっています。 今日も皆さんのご意見を伺いながら学校の方にも生かしていきたいと思 います。よろしくお願いします。 おはようございます。 八千代市 PTA 連絡協議会を代表して参りました木村麻巴と申します。 私は学校で働いているんですけども、子ども小学校4年生と1年生で今 まさに学童を活用させていただいています。 八千代市に引っ越してきたばかりではありますが一市民の立場としてかか わらせていただければと思います。
土井委員	おはようございます。 八千代市学童保育連絡協議会の土井と申します。 協議会の会長をやらせていただいて5年目になります。 今年は萱田南小学校のPTA会長の1年目になります。 私は子供が0歳のときに、八千代市に引っ越してきました、保育所、学童 保育、ということで、息子は6年生になりまして、そこにいる皆さんとも 5年以上、いろんなことを話しまして、6年間見てきて、大変進んだもの もあるなと思っていますので、本日は6年見てきた中で、今どう行くべき かみたいところを、昔から随分改善している点を振り返りながら参加さ せていただきます。よろしくお願いします。
久保田委員	八千代市民生委員・児童委員の睦地区の主任児童委員をしております久保 田綾子と申します。 よろしくお願いいたします。 今回子ども教室や、学童保育での現況などを皆さんからのご意見をお聞き したことを持ち帰らせていただいて、共有してすこやかな子どもたちの成 長のために会議の中で話して進めていきたいと思いますのでご協力のほど よろしくお願いいたします。
赤崎委員	特定非営利活動法人子どもネット八千代で理事をしております赤崎と申し ます。 私たちは八千代市とその近隣の人たちと、自然活動といった活動を通じ て、社会に貢献する活動をしています。私自身も、小学生がおりまして、 学童保育は通わないんだけど放課後子ども教室はどんなふうになって いますかって聞かれることも多いので、勉強させていただきたいと思いま す。よろしくお願いいたします。
桑波田委員	こんにちは。八千代オイコスの桑波田と申します。 私はもう子供は随分育ってしまいましたので、この制度ができた時はすご いなと思いました。 結局、地域の方がサポートしながら、学校で盛り上げていくっていう。 そこら辺もカバーしながら一つの事業として動いていくんだなというふう に理解しています。 花輪川って緑が丘のところに川が流れていまして、そこで夏休み子どもた ちと親子で川遊びとか水のことについて体験をやっています。私たちが市 民団体だからできるのかと思うんですけども。 市内の子どもたちは学校が終わった後、家に帰るまでに学童で色々な体験 をしているんだなってこの報告を拝見して思いました。これからお互い

江波戸主査	に充実した子どもたちのためにできることをしていきたいと思います。よろしくお願いします。 ありがとうございました。 なお、本日は、八千代市青少年学校外活動支援事業連絡協議会の川城直紀委員，八千代市社会福祉協議会の有馬淳委員，八千代市教育委員会の齋田忠徳委員は都合により欠席でございます。最後に事務局の職員紹介をさせていただきます。
奥田主任主事	子育て支援課奥田と申します。よろしくお願いします。
須田主査補	子育て支援課の須田と申します。よろしくお願いします。
江波戸主査	それでは議事に入ります。 委員長及び副委員長の選出まで，子ども部長が議事を進行いたします。よろしくお願いします。
島津子ども部次長	それでは，令和５年度第１回八千代市新・放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会会議を開会いたします。 それでは，議題１委員長・副委員長の選出について，お諮りいたします。委員長および副委員長につきましては，規定により，互選により定めるとされています。委員の皆様，どなたか自薦あるいは推薦はございませんでしょうか。いかがでしょうか
八幡委員	はい。
島津子ども部次長	お願いします。
八幡委員	前の任期で委員長を務められていた，桑波田委員を委員長に推薦したいと思います。
島津子ども部次長	八幡委員，ありがとうございます。ただいま，委員長に桑波田委員をご推薦いただきましたが，いかがでしょうか。ご承認いただけますようでしたら，拍手をお願いいたします。 【拍手】 ありがとうございます。 それでは，桑波田委員，皆様もご承認いただいておりますので，お引き受けいただけますでしょうか。 ありがとうございます。 それでは以後の進行につきましては，桑波田委員長をお願いしたいと存じます。 それでは桑波田委員，こちらにお移りいただけますようお願いいたします。
桑波田委員	ただいま委員長に拝命いただきました桑波田と申します。 皆さんと一緒にいろいろな意見を出し合いながら，良いプランになっていくようにと思いますので，ご協力よろしくお願いします。 はい。

奥田主任主事	続きまして、副委員長を互選推薦いただくことになっておりますが、どなたか、自薦他薦でもよろしいですので、手を挙げていただける方いますか。 はい。 それではご意見、今のところ自薦他薦ありませんので、昨年有馬委員が副委員長やっていただきましたので、お願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。今日ご欠席なんですけれども、今、皆様の方から特にご意見なければ、お願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。 はい。それでは事務局の方からご連絡の方よろしくをお願いします。 それでは早速議題の方に入っていきます。 議題２の放課後子供教室実施状況についてということで、事務局の方からご報告をお願いします。 はい。 それでは、資料１、令和５年度の放課後子ども教室について報告いたします。 また、初めての委員の方もいらっしゃいますので、概要も含めて載せていますので簡単に説明させていただきます。 子ども教室の概要なんですけれども、事業の目的として放課後子ども教室は、放課後に学校の余裕教室等を活用し、児童が安全・安心に過ごせる居場所を設け、また、地域の方々の参加を得て、様々な体験・交流活動を実施することを目的としています。児童については、放課後ルーム教室開催する小学校に通うすべての児童が対象になっております。 登録要件に関しても特にありませんので保護者の方が就労等していなくても、参加は可能となっています。 職員に関しては１教室に５人を配置して運営しています。 開催の日時は、週３日程度としていまして、学校給食実施期間に開催しています。 夏休みなどの長期休暇は実施していません。 曜日に関しては不定期にしていまして、偏りがないように曜日を決めています。 終了の時間も月によって変わっていきまして、５月から１０月及び３月は４時４５分で、１１月から２月は４時１５分まで開催しています。 利用料に関しても特に徴収をしていません。 ただ、保険料というところで年額８００円は頂戴しています。 次の２の実施状況の説明に移ります。 安全管理員の配置は、先ほど職員体制の方でも説明しましたが、５人を基本としていて、特別な配慮が必要な児童が参加する場合に関しては、１名加配して、事故がないように安全な運営を努めました。 (２)安全管理員の資質向上研修ということで、毎年行っているんですけれども、今回発達障害児の特性と関わり方というところをテーマとして開催しました。講師は千葉県の発達障害者支援センターの発達指導相談員の方にお越しいただきました。 裏のページになりまして、ボランティアで参加として、ボランティアの皆さんの絵本の読み合わせ、個人の方がハーバリウム制作を提案していただき実施しました。学生のボランティアもありました。 次の３ 令和６年度以降の運営に関してなんですけれども、令和６年度から業務委託の導入ということで、放課後子ども教室運営事業は安全管理員の確保及びよりよい居場所づくりの提供を目指し令和６年度から民間へ業務委託することになりました。受託者は株式会社明日葉になります。 契約期間は令和６年４月１日から令和８年３月３１日です。
--------	---

	現在、株式会社明日葉は、八千代市の学童保育所も運営しておりまして、また他市においても学童保育事業ですとか、児童課の事業を受託している実績がある株式会社になります。 直営からの変更点を簡単に説明させていただきます。 次年度新たに4校開設を予定しております。 今まで新規開設に向け、安全管理委員の募集を行ってきましたが、人材が集まらず、採用できても退職者の補充になってしまい開設ができませんでしたが開催できる運びとなりました。 次に開催時間の延長です。11月から2月に関しては4時30分までに変更しました。 次に、地域コーディネーターを各開催校に配置というところで、今年度は市職員1名コーディネーターとして学校調整をしつつ、各開催校を巡回していましたが、統括責任者以外に、学校や保護者との連絡調整を担う責任者を配置し、学校との連携が密になるように、対応しました。 次に管理システム、メール配信システムの導入を予定しています。 あとはイベントの増加というところで、ボランティア等イベントの開催について、コロナ蔓延により内容の広がりに限界が出てきていましたが、明日葉のグループの連携により多種多様なイベントが可能になるかと思われます。 次におもちゃ屋児童図書の更新をちょっと予定しております。 最後に、次年度4校、その後、学校敷地内に建設する学童保育所施設の部屋を活用し、八千代台及び緑が丘を順次開校していく予定です。 他の小学校は、今後の開催場所については、場所の確保について関係機関と協議し、全校開校を目指していきたいと考えています。 あとは令和3年度から令和5年度までの、子ども教室の登録者数や、開催状況を載せております。大体例年同じぐらいの推移となっているかなと思います。カラーの写真は、今年度の教室開催の様子を一部載せさせていただきました。 説明はこちらで以上になります。
桑波田委員長	はい。ありがとうございました。 それでは今の説明に関しまして、ご意見等いただければと思いますが、内容は二つに大きく分かれるので、5年度の今のこの実施状況のところと、来年度に向けてという二つに分けたほうが、お話できるかなと思いましたので、まず今年度の実施状況も、子ども教室の概要と、今までの実績・実施のところからご意見、いただければと思いますがどなたかいらっしゃいませんか。はいどうぞ。
村石委員	はい。 以前、私の娘は東京都の板橋区の方で、学童を利用していたんですけど、その時にこういった放課後子ども教室と繋がっていて、二つには分かれていなかったんです。 時間区分で5時までが無料区分といったふうに分かれていて。 お仕事されていない方でも、受け皿として毎日預かってもらえるっていう部分があったので、もうちょっと日数が、多いといいのかなって見て思いました。
桑波田委員長	そうですね。 放課後子ども教室と学童と繋がりについて、事務局側として、ご意見、ご回答ないですか。 お願いします。

須田主査補	はい。今、村石委員からお話あった話はアフタースクールのことかなとは思いますが、前回の会議でも、土井委員の方からもお話があったかと思います。アフタースクールについては、放課後の居場所の確保として本来理想的な形で、八千代市も導入したいと思っているんですけど、今、場所の確保が非常に難しい課題になっておりまして、アフタースクールを導入する場合にも、今既存の学童もなかなか場所を確保するところが難しい中でさらに場所を確保しに行かなければいけないという課題もありまして、今すぐに導入することはなかなか難しい状況です。 八千代市の場合、すべての学校で子ども教室が開催できていない状況ですので、まずはすべての学校で、子ども教室が開催できてから、取り組んでいきたいと考えております。
桑波田委員長	ありがとうございました。 村石委員よろしいですか。
村石委員	はい。
桑波田委員長	今後の参考のために、板橋区の場合はどのようにそのアフタースクールを展開されたのかちょっとお聞きしていた方がいいのかなと思いましたが、いかがですか。
村石委員	はい。分けていなくて、時間の区分で有料区分無料区分と分けていて17時までの区分と、18時19時の区分段階的に分かれていました。八千代市と同じようにホームページのカレンダーの予定がありまして、プログラムを実施している日を見て、行きたいところに行ったりできて、お仕事されていないお母さんのお友達とも一緒に遊べるような時間でした。
桑波田委員長	ありがとうございます。 参考にしながら、全校実施の先に見えるものも並行しながら進めていけたらいいかなと思いましたが、他にはどなたかいらっしゃいますか。 お願いします。
土井委員	はい、おそらく令和5年度は5月からアフターコロナということになっているので、この実績を見ると、令和3年4年5年とも開催数が年間数は概ね同じということになっています。 質問としては、アフターコロナに於いて、開催日数が増えなかったことについて、何か事情があれば、説明していただきたいです。
桑波田委員長	事務局よりお願いします。
須田主査補	開催日数の件なんですけれども、令和5年度は12年末現在なっていますので、3月まで実施したら3年度4年度よりは、日数が増えますので100日は超えると思っております。
土井委員	ありがとうございます。 とですね、もう一つ、令和6年度開催の、4校については、実際の予定では、令和5年度4月に開催だった小学校っていうことで、昨年ご説明を受けているので、これが1年間延びた理由というのは何かございますか。

須田主査補	昨年度と同じような話になってしまうんですけど、人材の確保が非常に難しく、これはもう、放課後だけじゃなくても学童もみんなそうなんですけども。 応募はもちろん来るんですけども、すべての方が適しているかというとなかなか、小さいお子さんと接する仕事になりますので、面接等はしっかりおこなうためなかなか会う人がいなかったというのがありますが、先ほど奥田の説明にもあったように、途中で、今やっている方辞められる方もいらっしゃるの、その補充で結局、増やすことができなかったと気づいております。
土井委員	ありがとうございます。 ちょうど2年前の委員会の時に、放課後子ども教室を見ている方の、その指導員の方の年齢が上がってきて、やはりその校庭で遊んでいる子どもたちの活動量について行けないとか、やはりもうちょっと、子供たちを安全に遊んでもらうために、見守りの方も少し改善があった方がいいんじゃないかというご意見があったので、確かにそれを受けて市役所はきっちりやっていたのかなと思います。 もう1点昨年有馬委員から、民間に人員がいないのであれば、民間に委託も考えたほうがいいというご意見が上がったと思うんですね。 なので今年その結果として明日葉さん。 明日葉さんは、大和田地区の学童保育を令和6年度で2年目ですかね。 なので、そうすると先ほどのアフタースクールと一緒にやると条件が整ってきた学校が少しあるんですよ。 つまり、放課後も明日葉がやって、学童も明日葉がやっている。 この条件が整わないと、アフタースクールの話はちょっとできなくなっちゃう。 そうすると、そこの条件が整った小学校から、例えば大和田西とかですね、一部は社会福祉協議会が運営していますので、そうすると放課後子ども教室の運営会社と学童の運営会社が違うので、やっぱりそこで子どもたちの責任っていうのが発生するから難しいと思うんですね。 さっきの話で、やっぱりそこの運営会社が統一された小学校から、例えばお試しでやってみると、子どもたちにとってはいいのかなと思っていて、この3年間、子育て支援課の職員の皆様が努力された結果かなと思って、やっとここまでできたのでとても嬉しく思います。
桑波田委員長	ありがとうございます。 とても前向きだし、先ほど事務局の方からは全校が整ってからってあったんですけど、やはり全国トップでも結構大変かなと。学校の事情とか、子どもたちの数も本当に動いていくと思いますので今の委員のアドバイスが一つ、体制が整ったところからモデル的にスタートしていく。 それは一つのいいアドバイスだと今聞いて思いました。 私も自分の団体も結構高齢化していまして。 本当に子どもたちとその川の体験をやるって言いましたけど、皆と年齢が上がり身体を気にしながらやっているんですけども、やっぱり若い方たちのお仕事や子育てのところをサポートしようねっていうところなので、やはり知恵を出し合いながらできるところと、ちょっと協力っていうか、サポートしてもらう部分、そこが今見えていくとこかなって思いました。 ありがとうございます。 他にはいかがでしょう。

桑波田委員長	赤崎委員どうぞ。
赤崎委員	はい。 ボランティアの参加のところでちょっと伺いたいんですけれども。 ボランティアの絵本や紙芝居の読み聞かせの方が入っている小学校と入っていない小学校、いろいろあると思うんですけれども、これはどういうふう に呼びかけをして、受け入れているのか教えていただきたいんですけれども。
須田主査補	呼びかけというのはどのような。
赤崎委員	どういうふうボランティア募集を公にされているのか、それとも学校ごと におつき合いのあるところで選ばれているのか伺いたいです。
須田主査補	そうですね。 ボランティアに関しては、今回個人の方とかいたんですけれども、児童の登録 の申し込みのときに、ボランティア協力できる人がいないかの項目で周知 させていただいています。あと、本だいすきの会は昔から、つき合いがあり まして、ボランティア団体から、ぜひ子どもたちに知らせたいという お願いもあって、協力しながら一緒にやっている状況です。
赤崎委員	わかりました。ありがとうございます。
桑波田委員長	子どもネットさんとしては協力したいとかということですか。
赤崎委員	これ、具体的に何かさせていただくとか、そういうことではないんですけれども、 学校ごとにばらつきがあることと、例えばこの放課後子ども教室に何か したいという団体がいたときに、今、申し込みの時と言っていましたけど、 現役のお母さんたちが今こういう活動している人も減ってきていますので、 そういうお手紙を見る機会が減っていて、私も実際に小学生の子供が いるんですが、うちの学校はないので知らなかったのも、そういう何か したいっていう時の窓口は明日葉さんなのか市役所なのか気になりました。
桑波田委員長	いかがでしょうか。
須田主査補	はい。そうですね。 今年度までは市役所にご連絡いただければ、コーディネーターを中心に させていただくんですけれども、来年度以降に関しては、明日葉さんの統括 管理責任者の方との調整になると思います。 もちろん今のボランティアの団体は、市から引き継ぎを行いますので、あ と何か新しいところあれば今後、明日葉さんにご連絡いただければと思 います。
桑波田委員長	今年度は、呼びかけの団体の周知というか、市民活動センターに呼びかけ て、地域の方が近くに住んでいる方が協力してもらうとかそういう呼びか けもされたらよかったのかなとかされたのかもしれないんですけれども、 来年の話は明日葉さんと、市の方が契約しながらやっていく中に、そ ういう地域の方の情報とかを入れていただいて、民間だけではできないこ ともあると思います。子どもたちは帰ったら地域に戻っていくので、やっ

	ぱり地域のサポートの目とかもあればよいと思います。 赤崎委員の方からの意見を上手く明日葉さんと調整しながら、地域の中でサポートできる体制ができれば、より豊かに子どもたちのためになるのかなと思いました。ありがとうございました。 他には。はい、お願いします。
木村委員	意見といたしますか、個人的な質問の部分も結構あるんですけども、来年度から業務委託という形に切り換えられるということで、これまずその運営に関わる、子どもたちからしたら、その学童と放課後子供教室の先生と言われる方、職員の方も明日葉の職員の方に切り替わるという認識で間違いないですか。
桑波田委員長	はい。お願いします。
須田主査補	基本的には明日葉の職員になるんですけども、今、市で雇用している会計年度職員の中には辞める方もいますが、基本的にはそのまま明日葉の職員という形になります。 新規の開設する4校に関しては、明日葉さんの方で今人を集めている状況となっております。
木村委員	ありがとうございます。 わかりました。費用って市でその負担、その運営に関わる費用って幾らかかっていると思うんですけどその部分って業者に委託するにあたって負担が増えてたりとかはありますか。
須田主査補	そうですね、委託したことによって直営よりは委託の方が、費用は上がっています。 ただ利用者の方に関しては、特に利用料とか負担は変わっていませんが、市としては委託により直営よりは金額は上がっております。
木村委員	ありがとうございます。 費用のことをお伺いしたのが、市の方でお金出してくださるので利用者としては構わないんですけども、さっき話にも出ました開催日について、私もこちらに来る前、東京都内の小学校でお世話なっていてその学童保育や放課後教室みたいところは毎日開催していました。 夏休みとか、そういう給食のあるなしにかかわらず、利用できていたのでその点すごく助かっていました。 利用の日程の見通しも立てやすい点ですごく助かっていたので、その人員の確保もすごく大事だと思うんですけども、その増えた費用でもう少し日にちを増やしてもらうところに費用をまわしていただければと。利用者側からの要望として、開催日を増やしてもらうとか、そういう形で費用をもっとかけていただくっていうことは、いかがでしょうか。
須田主査補	この点に関しては昨年の委員会でもお話があったんですけども、子育て支援課としましては委託するにあたって、今回、夏休みだけでもふやせないかということで、予算担当に要求をさしていただいたんですけども、残念ながら今まで通りでの予算の措置がされてしまったので、今回契約は2年になってはいるんですけども、また次の契約時には増やせるようにやっていければと思っています。

	近隣市も習志野市や船橋市など、近隣市は週5でやっているところもありますので、開催日数を増やせるように粘り強く交渉していきたいと思っています。
桑波田委員長	ありがとうございます。 お願いします。
土井委員	今の点なんですけども、おそらく保護者が利用したい時期とのギャップがあって、そもそも放課後子ども教室は給食がある前提で、週2から3回開催していますが、そもそも学童は厚労省、放課後子ども教室は文科省ということでそもそも出発点が違っていた中で、子ども庁ができて、包括的に子供の居場所を作ってこうという動きになっています。例えば千葉市は政治判断でアフタースクールを昨年度から始めたけれども、学童保育の業者が放課後子ども教室を運営すると、先生方のやり方などですごく混乱したのもあって、それを見ていると、徐々になっていくのもいいかなと思いました。その中で、学校の給食がないときもしくは長期休暇の時に、どうしても預けたいという保護者が多いので、予算がつかないといけないのは分かるんですけど。 夏休みの間学校は閉じていて、1ヶ月間子供は家にいて、親としては、学校の中で遊べるような空間があったら一番安心で、そこをどうにかこう予算請求で取っていくことを頑張っていないと、学童の待機児童でいる子たちも逃げ場がないし、日中お母さんがパートで働いていて、学校がないときに、家にいなければいけなくて子供たちの場所もないし、やっぱり夏休みの課題が一番大きいと思います。今年度、予算がつかなかったのが非常に残念ですけども。 これだけの待機児童がいて、お母さん方が働いているパーセンテージが八千代市も上がっていますので、八千代市の子供がそんなに増えてないのに、なぜこんなに学童に申し込む家庭が増えたのかということとお母さんたち働きに出始めたということだと思うんですね。 なので、夏休みはどうにか考えないと学童の待機児童の問題にも逼迫するので、ぜひ頑張ってくださいということを付け加えます。
桑波田委員長	はい。ありがとうございます。 市の方も頑張ってくださいと思います。 6年度の話の方が、とても気になるのはすごくわかりましたけど、今年度、実施報告とか見て、何か良いところかアドバイスとかありましたらお願いしたいと思います。そのあとは6年度に向かって、来年から委託で対応していけるっていうのが、期待する部分と、気になる部分の方が今先に出ていますので、ちょっと整理して、今年度よかった点を聞いて、次のステップに行きたいと思いますがいかがでしょう。
土井委員	学校の教室を借りるときに、学校によってはなかなかその教室の確保とか、放課後子ども教室に関する、理解度が進まない学校もあると思います。例えばPTAの会長連絡会議に毎月行きますけども、放課後子ども教室の必要性を分かっていたけどない部分も実際出てきて、令和5年度までに開催している学校には、子育て支援課の方で学校への理解についてどのような形でやられているんですか。例えば新木戸小はおそらく子供も多くて参加する児童数も多いと思うんですけども。学校側の理解っていうのは、今開催してるところはどういうふうなコミュニケーション取りながら、もしくは他の子ども教室でやったことを学校の方にどのようにフィー

桑波田委員長	ドバックしてるのか、そういうことがあれば教えていただきたいです。ただやっぱりその学校が終わった後の開催なので、学校の先生たちにこの活動どういうふうに理解してもらっているのか。 例えば、教室足りないんだったら、どういうふうに広げていくのかとか少なくともこの実施している9校、もしくは今年開催するプラス4校とは、かなりお話されたんじゃないかなと思うんですけども。 はい。 今市役所の努力もありますが、先に校長先生の話も聞きたいと思います。
長島委員	いつもありがとうございます。 私、新木戸小の校長なんですけども、以前八千代台西小の教頭をしていました。 八千代台西小は放課後子ども教室の先駆けで、最初にやった2校の中の一つだったんですね。その時に、行政の方とどこができるのかたくさんお話をし、それからその当時、毎月報告会をしていただいていた。どのくらい子供たちが来て、こういう課題があったというのを共有しながら進めていたので、多分今もやられているところもあると思うんですけども、そういう形で学校とは協力しています。 ただ一方で、おっしゃるとおり教育活動に支障がある場合は、なかなかその場所を使っていただくことが難しいこともあるので、そういうことも含めて、新木戸小ともよく連絡を取って進めているような状況です。 以上です。
桑波田委員長	ありがとうございます。 市から補足はありますか。
須田主査補	はい。 長島委員からお話があったんですけども、昔は確かに毎月やっていました。 今は回数が減ってしまいましたが、学期ごとに既存についてはお話させていただいて、新規は今話している最中でして、また、今月も新規は話に行く予定ですので密に連携できればと思います。
桑波田委員長	そうですね。 今まで受入れした学校でもう来年度から開催しませんとするところがないだけでもとても良いかなと、広がっている部分だと思いますね。 やはり子供たちの変化とかいろいろあると思うし、学校側の先生たちもとっても忙しくて時間をとるというのがすごく厳しい中で、コミュニケーションができてお互いに共有していくような場面を設けていただけることがうまくいけばいいかなと思いました。 ありがとうございます。 他には。よろしいでしょうか。 はい。今度は6年度で、今出された意見以外に、こういうことがあったらいいのかなとか、何かありますか。 他市の参考だけがすべてじゃないんですけど、他市ではこのような違うところがあって、八千代市中でできることがあるのかとかアドバイス等ありましたらお願いしたいと思います。

長島委員	本当に市の方々が工夫してくださってこうやっっているいろいろとやっってくださいとありがたいなというふうに思います。学校職員としては一番心配するのは子供の安全安心です。その点で、二つほどちょっとお聞きしたいのが、11月から2月の開催時間が4時半までになっていますが、ここは職員としては心配なところで、4時半って子供たちの中には、30分以上かけて登下校していて、その時間暗くなるだろうと思いましたので、この入退室管理システムを導入していただけるっていうのは、親御さんにとってはすごく助かるしまた安心だなと。 また、この開催時間の延長について何かその保護者の方が心配なさらないような、そういう周知や工夫をしていただきたいというのが一つ。あと、先ほど出た明日葉さんの新規の指導者を雇用するときに、当然市の行政の方も明日葉さんのことについて把握されているのかなとは思いますがその確認をさせていただきたいなと思います。 以上です。
桑波田委員長	ありがとうございます。 15分延期した理由とか少し説明いただければ。
須田主査補	まず1点目、4時15分から4時半に延長というところは難しいところでもあるんですけども、6時間目が終わるのが大体3時半ぐらいで、実際準備から下校してすると実際放課後子ども教室に来るのがもう3時40分から50分です。そうするとほとんど参加ができないっていうお話も結構いただいておりました。なので、放課後子ども教室は11月から2月の冬の時間は参加率が一気に下がるんです。その要因の一つが開催時間の短いというのを学童の方と合わせて、開催時間を変更させていただきました。 延ばしましたが、4時半に帰らなければいけないわけではないので、帰りが不安だとか、低学年とかで、帰りが不安な方は、早く帰っていただくとか、迎えていただくとかっていう形でご協力いただければなと思っております。 周知に関しては、毎年始める前に必ず全校すべての児童文書を配らせていただいていますので、そこで周知をしていきたと思っております。
桑波田委員長	そうですねきっと、4時半は暗いですもんね。 今大分明るくなりましたが、4時ぐらいになったら、家に帰りましょうとアナウンスが流れているので先生が心配されるのも分かります。 預けている親も気になりつつ、でも預かってもらいたいっていう微妙なところだと思うので、やはり子供の安全とか今いろいろなことが起きたりしますからそこはお互いにきちっと共有していくのも必要かなって思います。先生方はや子どもたちが家帰ったか気にされていると思うので、お互いに預ける方も、預かる方も、そこがきちっと気にしながらいくのがよいのではないのでしょうか。 事件があってからではとても遅いので、そこは本当に丁寧にお互いに対策を考えながらやることも一つかなと思います。 ありがとうございます。 他には。
土井委員	はい。 阿蘇米本学園の運営なんですけど、学童が中学校の敷地で子ども教室は小学校の中ですか？ これだと、子ども教室を利用した子が学童に行けるパターンがあります

	か。つまり、学童を利用している子は放課後子ども教室に行けないということでしょうか。
須田主査補	阿蘇米本学園の放課後子ども教室は学童の2階で開催をしております、先ほど時間のところで阿蘇米本学園に関してはバスの関係があるので、基本的には4時10分とか4時半とかではなくて1年中4時45分までにしております。
土井委員	逆にバスに乗らなかったら、放課後子ども教室には利用できない子たちがいるのでしょうか。 学校の中でやらないってことは学童に通ってない子達が他の子ども教室を利用する場合に子どもたちが学童の方に移動するということですか。
須田主査補	阿蘇米本学園は学童棟内に4教室ありまして、そのうちの1教室は、もう基本的に他の子供教室で使っております。
土井委員	そしたら、そこに学校終わったら、帰りは歩いて行ける子と、バスに乗る子で帰っているということですか。
島津次長	学童棟と、一年生から6年生と789年生が、全て敷地内にいますので昇降口出たらもう、30秒で学童保育には行けます。 米本小、米本南小、阿蘇小学校はもう廃校になっています。
土井委員	そうすると基本的には、帰りのことだけ心配すればいいということですかね。
島津次長	さっきの一般的にバスは希望すれば無料で乗れるという状況になっていますのでそれで放課後子ども教室がある日は終わる時間にあったバスを出していますので、それに乗って帰っていただいています。
土井委員	わかりました。それを、保護者の皆さんに募集する時に周知して、利用してもらっているということですか。
島津次長	そうです。お迎えに来るのも自由ですし、バスに乗せるのも自由です。
土井委員	保護者さんが暗くなったら、バス停まで子供をお迎えに行っているという事例が発生しているということですね。わかりました。 バスが停まる場所にお母さんが待っているなどの工夫をしながらやっていると。時間も学童のことも考慮して暗いのはわかっているけども、合わせたという理解でよろしいですか。 ありがとうございます。
桑波田委員長	はい。 ありがとうございます。 他には、関谷委員の方から何かご専門的にアドバイスとかあれば。
関谷委員	はい。非常にここ数年間で、行政の方でもかなり力を入れてお金も人員も制約がある中で、民間委託も含めて大分進めてこられたなあと伺いをしていました。

	来年度も事故が起こらないようにすることを最優先にやっていくことになると思うので、私の場合、大きな枠組みというよりも、ボランティアさんも含めた活動のバリエーションのことになるんですけども、一昨年少し話題に出たこともあったと思いますが、近隣の高校とか大学の部活やサークル活動でお兄さんお姉さんが、ボランティアとして、子どもとの触れ合いも兼ねて、何か音楽やスポーツを教えに来てくれる機会を組み込んでバリエーションを増やしていけたら、きっと子どもも楽しいだろうなというのを先々すぐは難しいかもしれないですけど考えておりました。
桑波田委員長	はい。ありがとうございます。 市側としても、過去にも、ボランティアを行う大学とかあったかと思うのですが、今、関谷委員がおっしゃったのはまさに地域の連携をしていくってところ明日葉さんにも伝えていければいいのかなと思いました。 他にはいかがでしょうか。 八幡委員が先ほど学童に勤めている話があったので何かご意見とか、アドバイスとかありましたらお願いします。
八幡委員	そうですね、私は長島委員が前にいらした八千代台西学童で、今働いているんですけども、隣に放課後子ども教室がありまして、学童で放課後子ども教室に行く子は、私たちがみんなを連れていって、放課後子ども教室の時間が終わったら一緒に連れてきていただいて、その後は学童で遊んだりおやつを食べたり、スムーズにできている状況です。 放課後子ども教室の内容については、放課後子ども教室の先生に話を伺いながらやっているところで、その中で時間としては短いのかなと思っています。 夏休みなどの長い休みをご要望する方もいらっしゃる中で、開催がない分全部学童に行っていると思うと人数的にも厳しいと思うので、それがいろいろお話を聞いていて、夏休み春休みなどの長いお休みの時間をいかにどうしたらいいのかが課題だと感じました。 以上です。
桑波田委員長	ありがとうございます。 現状の話を今お聞きして、とても丁寧になさっている部分と、みんなが学童に来たら、逆にキャパ的なものとか、そういう現実も踏まえながら、やっぱり子育てを応援するのはどのようにやっていくかは、八千代市でできることを進めていければいいのかなと思いました。 あとはそうですね。 岡崎委員、今年初めてなので何か一言いただければ。
岡崎委員	はい。 もし絵本や紙芝居の読み聞かせのボランティアさんが足りないのであれば、私この放課後子ども教室というものも、ボランティアの参加があることも存じ上げなかったのも、何かこう市民全体に周知する方法があればいいのかなと。実は夕方、家でんびりしていて、子供が好きだから絵本を読んであげたいなっていう方も中にはいらっしゃるのかもしれないなと思いました。 あと学童とこの放課後子ども教室と重複してしまうかもしれないんですけど、夏休みに開催して欲しい保護者は、多少自己負担がかかってもお願いしたいって思う方がいらっしゃるかもしれないので、これ例えば夏休

桑波田委員長	み、四十日間全部じゃなくて数日間やって、夏休みだけ参加料を徴収するってというのは難しいんでしょうか。 そうですね、来年度に向けての部分で本当現実的なご意見あるところで、市と明日葉さんとのやりとりもあるかと思いますが、とても前向きな意見だと思います。 市として、頭に入れておいていただいて、やはり夏休みは本当にネックだと思いますので、誰が無償でやるのか、預ける預けられる側ってところが、本当にいい形ができていけばいいので、そこはできるところの歩み寄りをしてもらえたらと思いました。 あと本当に各子ども教室の時間って短い中で、地域の方がサポートしていくところでおはなし会とかそんなに長い時間かからなくてもできるかなと思う時に、地域のボランティアとか、社会福祉センターにもお話の会とかいっぱいあるんですよね。そういうところに明日葉さんが声をかけるとか、学校から、地域でお母さんとかおじいちゃんおばあちゃん、その時間ならできる人の情報を簡単にはいかないと思うんですけど、そういう情報もいただいて、事業者とご相談しながら、進めてはどうかというご意見だと思います。 はい。どうぞ。
土井委員	最初令和5年度までに八千代市はすべての26小学校で、放課後子ども教室を開設するということを、おそらく令和1年度の時にお聞きしたと思うんですけども、コロナ化で3年ぐらい遅延しているということは承知の上で、実際これは何年までに八千代市全体で開校しようとする目標値があるのかが一つの質問。 令和7年度、何校を開催するつもりでいるのか質問にお答えいただけますか。
須田主査補	まず目標に関して、市では子ども子育て支援事業計画というものがありまして、それに基づいて本来であれば、令和5年度末までにすべての学校が開校になっておりますので、そのところは守れていない状況ですのでできるだけ早く開校をできるように進めていく次第です。 令和7年度については、後程説明させていただくんですけども、八千代台小と緑ヶ丘小が、今回学童の建設を予定しておりまして、阿蘇米本学園と同じで、教室の1教室を放課後子ども教室として活用したいと思っておりますので、令和7年度以降は2校増やせる予定になります。 残りのところに関してはですね、場所的に非常に厳しいところもあるので、いろいろ工夫していかなければいけないところではあるんですけども、例えば夏休みだけとかでもできないかとかそこら辺を工夫して、開催をできるように努めていければと思っております。
土井委員	萱田南小学校は空き教室がたくさんございますので、スペースの問題は、あまりないのかなと思うのと、唯一学童がずっと外にある校内に学童移設しないってことが市の方針で決定されている小学校ですので、萱田南小学校においては、子どもたちの安全を考えると、速やかに学校の中に他の子ども教室を開始して欲しいと言う保護者が多数おりますので、前向きに検討いただきたいと思います。
桑波田委員長	情報ありがとうございます。

須田主査補	そうですね。今年9校で、来年度が4校で13校。2校が今、少し兆しがあって計15校なので、もう少しですね。 校長先生も今いらっしゃるので、学校側の受け入れとか、地域のバスで移動する子どもたちとかいろんなことがあるんだなと思います。 。方向としては、全校につなげていきたいところを、何かお互いに応援しないといけないんですね。 ありがとうございます。 そしたらもう、来年度に向けて結構いろいろご意見いただいたんですけども。他にはいかがですか。 これをもって今年度の報告と来年度に向けてというところでまた事務局の方で進めていただければと思います。 この会議は1年1回で報告とスタートなので、想いがいっぱいここで詰まっていると思いますけれども、市の方の努力や、学校も校長先生が頑張ってもらってるし、預ける側はすごく現実を分かっているところで皆様のご意見いただけたかなと思います。 議題は、2番を終わりにして、3番目の学童保育事業についてお願いします。 それでは、資料2の学童保育について説明させていただきます。 学童保育事業も、概要から説明させていただければと思っております。 まず(1)番の事業の目的は、学童保育は小学校に就学している児童であってその保護者が就労等の理由により昼間、家庭にいない場合等に適切な遊び及び生活の場を与えて、その児童の健全な育成を図ることを目的としております。 対象児童は小学校1年生から6年生までとなっております。 就労の要件については、就労、出産、就学傷病、障害、介護、看護等によって保護者等が放課後等に児童の保育に当たれない時に入所ができるという形になっております。 職員体制、保育基準については、支援単位ごとに児童数に応じた職員の基準が決まっております。1支援40名の場合は、放課後児童支援員資格を持った方が2名、補助員が1名、この1支援の人数が変わっていくと、支援員の配置の数が変わっていく仕組みになっております。 保育の基準遊びの場、生活の場として専用区画が必要となっております。 開所日時なんですけれども、開所日は日曜日、祝日、年末年始を除く毎日開所しております。 開所時間については、通常、授業日放課後から午後7時まで、学校休業日、夏休みとかですね、はですね月曜日から金曜日まで、午前8時から午後7時まで、土曜日は午前8時から午後7時まで後程説明させていただくんですけど、来年度からは、夏休みの開所時間が8時から7時半に変わる予定になっております。 利用料については、月額8000円になります。おやつ代、教材代保険料は別となっています。 2人以上入所の場合は、最年少時以外は半額に減額、あと生活保護を受けている場合や経済状況によって減免の制度があります。 運営方法については、八千代市はすべて民間へ委託しております。 事業者の内訳は、株式会社が一つ、社会福祉法人が四つ、NPO法人が一つという形になっております。 次に、申請状況について、令和1年度から令和5年度まで5年間載せていますが、やはり申請者数がもう毎年のように非常に伸びてきている状況になっております。
-------	--

桑波田委員長	令和6年度は書いてはいないんですけども、今一次の申請が締め切った段階では2,213名、申請が来ております。 それに伴って待機児童者数も増えている状況になっておりまして、この待機児童の解消が市の一番の課題となっております。 次に、令和5年度の整備状況について、令和6年4月1日における定員増は、今の段階で205名、これは過去最大の定員増になっております。 まず、新木戸第二学童保育所新設ということで、今新木戸小学校の敷地内に学童専用棟を建設しておりまして、その分プラス95名となっております。 緑が丘学童保育所については、学校で増築の校舎ができていましてその教室をお譲りすることができたので、プラス30名という形になります。 そして、大和田西学童保育所については、今まで外でやっていたところを、学校との協議が整いまして、教室を借りすることができたのでその分、定員の方拡大することができました。 勝田台南学童については、今学童でやっている教室の隣を確保することができましたので、改修工事を行っておりまして、定員もそれに合わせて、15名増やすことができております。 南高津学童についても、あの1教室増やすことができましたので30名プラス。 八千代台西に関してはもともと2教室あるところなので、定員をさらにプラス20で、計205名の定員の方は増加する予定になっております。 ただ、まだ交渉しているところもあり、これより増やせるよう努力をしている最中でありまして。 令和6年度以降の学童保育については、まず運用面の変更点で、先ほどお話しいただいた開所時間の変更で、昔から要望のあった夏休みの開所時間を来年度から今の8時から午前7時半になりましたの。 8月の保育料の改正ということで、8月の保育料は8,000円だったんですけど、夏休みはどうしても預かる時間が長くなりますので、その分負担が増えてしまいますが、11,000円に改定予定となっております。 なお8月以外の保育料に関しては8,000円で今まで通り変更はありません。 次に入所要件の変更について、ひとり親家庭は離婚調停中も含み、休職中である場合も申請が可能と。いうふうになります。 期間は2ヶ月間で、令和6年4月の入所審査から適用する形になります。 次はハード面の話になりますが、先ほどもお話をさせていただいています。 緑丘学童保育所なんですけれども、令和3年度に一つ学童専用棟を建てたんですけども、児童数の増加、申請者数の増加が大幅に見込まれることから、令和6年度中に工事を行いもう一つ、学童専用棟を建設いたします。 令和7年4月1日から開所予定となっております。 次に八千代台学童保育所について、こちらも現在余裕教室の2教室を借用して運用しておりまして、八千代台小学校も児童数と申請者数も増えていることから、今、学校がプールを使用していないので、そのプールを解体しまして、その跡地に学童の専用棟を建設する予定となっております。 こちらの開所は、令和7年の秋頃予定になっております。 簡単ですが、説明は以上です。 はい。 ありがとうございます。 ただいまの学童保育事業についてご質問とかありますか。
---------------	---

	お願いします。 令和5年度に夏休みだけに実施した施策があったと思うのですが、そちらの報告はしますか。
土井委員	
桑波田委員長	お願いします。
江波戸主査	今、須田から説明させていただいた整備のほかに、今年度に限って夏休みのみニーズがあるというところ含めて拡大したのが八千代台の学童保育所で定員の拡大をさせていただいたのと、あと近隣の学童で空きがあるところに、待機されている方をご案内したケースがあります。
土井委員	はい。ありがとうございます。 例えば小学校ごとに学童が指定されていると思うのですが、例として、どこの小学校の待機児童がどこの学童に使って夏休みの利用をしていただいたとか、例えば先ほど長島委員の話にもありましたけど、違う学童へ行くことによって、子どもたちのどんな安全面で学童へ行って、家に帰る時に工夫された点とかありますか。
江波戸主査	はい。近隣の学童をご案内する時も、基本的には徒歩で行けるかつ、歩道がルートとして確保できているところを中心にご案内をしています。
土井委員	保護者からいうと、待機になっているから市役所からそういうご連絡が来たっていう認識があって、もともと4年生以上だと難しいと思って、応募しない保護者も結構いるんですよね。自分たちの小学校が1年から3年生で埋まっている場合、そういう知らない保護者さんも結構いて、その辺の情報の伝達の仕方とかは、何か特に、3年生や4年生から待機児童が出ているようなところで、近隣の学童をご紹介できる時に注意された点とかはありますか。
江波戸主査	基本的にその年で待機の地区って変わるのでなかなか読めないところがあるので、待機を見た上で案内できるかどうかを判断している状況になります。 なので、事前に夏ご案内できますというような案内ができれば良いのですがやれるだけのデータがそろってないので現状難しいです。
土井委員	ありがとうございます。 8月から利用するとなると、7月の頭ぐらいに申請出さないと駄目ですかね。もし、8月1日とか、7月24日から利用したいっていう場合には、早い人は6月末に申請しとかないと駄目ですかね。
江波戸主査	申請は利用月の前々月の月末なんですよ。 なので、7月の利用ですと5月が締め切りになります。
土井委員	あと、よく保護者から要望が出るのは、学童にどれだけ空き数があるとか、どれだけ埋まっているとか、そういうのを市のホームページかなにかで見られるようになっているんですかね。

江波戸主査	そうですね今市のホームページでアップしている状況だと空きを○×△で示して、大体これぐらいの人数で空きがありますというご案内は差し上げています。
土井委員	ありがとうございます。そうすると保護者にそのページを見に行って、前々月までにご判断くださいみたいところが、現状で市がやれる精一杯のところですね。
桑波田委員長	ありがとうございました。 はい。他にはよろしいでしょうか。 じゃあ、村石委員お願いします。
村石委員	入所要件のところで気になったんですけど、例えば就労している場合、ホームページでどういう入所要件なのか気になったんですけど、就労している場合は週4日からってというのがあったと思うんですけども、他の市ですと週3日からっていうのもあるので、八千代市はどうして週4日からなのか気になったのが一つと、あとフルタイムで働いていたら、資格としては通りやすい面があるのかもしれないんですけど、一年生とか、低学年の優先などはっきりした基準があるのかどうか。 それと、申請を出しても、実際は習い事があったり、フルで預けたりすることがない曜日もあったり、予定をあらかじめ出しておけば申請してもそんなに預からないこともあるのかって、そういったところをどういうふうに管理されているのか気になりました。
桑波田委員長	ありがとうございます。 市側として、学童事業についていかがでしょう。
江波戸主査	そうですね確か近隣の市の要件等を見ると、週3日が増えている状況というのは把握しています。 今待機の状態を見ながら今後の要件の考え方を検討していきたいと考えております。 実際登録の方も現場の学童では、ある程度その予定とかも含めて把握はできていると思うんですけども、なかなか今当初率等含めてですね、いろいろどれぐらいまで入れられるのかという、研究をしているところなので、ご意見いただいた中で今後も検討していきたいと考えております。
桑波田委員長	はい。ありがとうございます他に。
土井委員	まず、学童の利用料金の値上げを昨年の委員会で検討されているとおっしゃっていたことを覚えているんですけども。 おそらく1万円以上になるだろうと。 それで、我々、保護者800～700人程度のアンケートをとった結果、頑張って8,000円でやっていただきたいというのが学童利用の保護者の結論だったんですけども、まず8,000円を今年度キープしていただいたのは非常にありがたかったと御礼申し上げます。 夏休みの利用に関しては、エクストラでお金を払っても、夏休みの前倒し開所ですね、どうしても八千代は東京に通っている人が多いので学校に出る時間と同じ時間に学童に出したいという保護者が根強くいまして、これも4年間連続で要望書を市役所に出させていただいている状況で、今年

	度から 30 分前倒しの開所ということで実施していただいたことを、すぐ学童の保護者がありがたく思っていますので、ここで御礼申し上げます。 ありがとうございます。
桑波田委員長	そうですね。市も頑張って努力されて。 確かに、違う町では今人口減少、高齢化が進んでいく中で、やはり新しい人たちが沢山入ってらっしゃるから、その分子どもたちが増えていくので、八千代市として、お互いにサポートしていくというのはすごくいいんじゃないかなって思います。ありがとうございます。 他にはよろしいですか。 どうぞ。
村石委員	利用時間について、今までの経緯もあったと思うんですけども、午後 7 時までっていう一つの時間。 これは 6 時、7 時までという区分ではなくて、7 時まで利用される方が、多いというところで検討を今までされていたのかもしれないですけど、時間枠は一つと決めているところを伺いたいです。
桑波田委員長	はい。いかがでしょう。 時間のこと。お願いします。
江波戸主査	そうですね、今、八千代市では退所時間 7 時までということでやらせていただいている、料金についても一律で考えております。
桑波田委員長	開所時間と、退所時間は預ける側の立場で微妙に違ったりするので、そこら辺はどのようにしていくか必要なかなと思います。
土井委員	市役所で、土曜日、平日週末っていう考え方がなくて、保護者は土曜日でも、例えば 5 時半や 6 時まで勤務されていて、1 時間かけて八千代市に戻ってくると、7 時過ぎてしまったりしているので、市役所の方で頑張られて、土曜日の退所時間を、5 時から 7 時まで延長していただいて、土曜日でも平日っていう考え方で整えていただいたのは大きな工夫だったんです。 それで、保護者の皆さんが学童に子どもを 8 時から預けると、会社に遅刻してしまう。例えば新宿で働いている人、大手町で働いている人が定時に会社に行けない。アフターコロナになって会社に出て行く人が増えた結果、夏休みは前倒ししていただかないと、ほぼ毎日会社に遅刻する状況になってしまいます。 保護者の要望が、連絡協議会の方にいっぱい来ていまして、それをずっと協議させていただいて、今年度から 30 分前倒しになって、土曜日を平日という考えで 7 時までになって、利用料を一定にいただいているので、 かなり予算確保から頑張られたということで先ほどお礼を述べました。
桑波田委員長	よろしいですか。ありがとうございます。 それでは、いろいろ意見がありますけど、最後、来年、今のこの学童保育に関して何かご提案とかご意見あるようでしたらいかがでしょうか。 はい。
土井委員	令和 3 年度に、最大の学童対策だとおっしゃったんですけど、令和 3 年度

	ってかなりやってもらった年なんですよ。 萱田小に学童を入れてもらったり、大和田地区で新規に学童を作ってもらったり、市役所が考えている以上に、子供たちが八千代市にいる状態になってきていて、八千代は子供が増えて、結婚した世代が増えていって、それで子供ができて、3年前に立てた計画が3年後には破綻しているっていう、そこを考えると、もう少し先を目指して計画してほしいんですよ。あの時も、萱田地区はおそらく待機児童が出なくなるっていう話で令和3年に施策してもらったんです。実際、萱田小学校は待機児童が減って、なので、3年後ごとに予算を取っていくことを考えるとおそらく大きな施策っていうのは3年に1度ぐらいなのかなって今までのやり方を見ると思うので。 そこをどういうふうに市役所の方で、考えて予測していくのかなと思いました。 多分、直近でやれることっていうのは、夏休み開所したり、少し部屋掃除して広げたりとか、10何名とか、20名の待機児童対策はすごくやっていただいているんですけど、多分3年に1回多分200近い待機児童対策が必要じゃないかなと思います。令和3年、令和6年なので、例えば令和9年に向けてどんなことを考えてらっしゃるのか、聞いてみたいです。
桑波田委員長	人口の予想の部分と、八千代市が何名まで受入でできるとかは大きな施策とも絡んでいくのかなと思うんですけども、例えば新しく団地ができたら人が増えて、このピークが終わったら減っていくとか、いろんなところを見据えて、今後の方向としてどういうふうに考えていかれるのか大きな課題だと思いますけれどもいかがでしょう。
島津次長	こちら申請者数の令和元年度からのデータを今日提示しておりますけども、正直なところ我々の想像を超える申請者数になっているのは確かです。 おっしゃったように萱田小学校も三階に教室二ついただいて、ここにこれだけスペースあれば大丈夫だろうと思っていたところ、あっという間に埋まってしまいました。 緑ヶ丘小学校も一つ専用の建物を作ったところの新しい建物を、今工事始めようとしております。 学校によって低学年は5割を超える小学校の申請率がございます。 そういったところを見据えて、しっかり定員を拡大していかなきゃいけないということは、我々も重々しみ込んでおりますので、次期計画を6年度中に向こう5年間の子ども施策の計画というのを策定します。 そこにおいては学童保育の定員拡大、申請率5割というのを一つの目安にして、定員を見据えていけなければいけないのかなと管理者として、次長として考えているところです。
土井委員	ありがとうございます。 引き続き、学童保育連絡協議会の方でも年に1度、保護者の利用アンケートをとりまして、できるだけ率直なコメントを、市の方に共有いたしますので、引き続きよろしくお願いいたします。
桑波田委員長	ありがとうございます。 他にはよろしいでしょうか。 はい。

岡崎委員	すいません。すごく初歩的な質問なんですけれども、まず入所者数の学年の内訳がもし大まかでも分かれば教えていただきたいです。例えば6年生はもう0%かとか、4年生は何%ぐらい使っているのかとか、あと待機者数はどういうふうに決まっているのか。 先着順なのか、市の方で協議して、この子は入所させたけどこの子は駄目だねってなっているのか、協議されているのであればどういう協議条件があるのかを今後のために質問したいです。
桑波田委員長	はいありがとうございます。 事務局お願いします。
江波戸主査	ちょっとごめんなさい。正確な割合はすぐ出せないんですけど、大まかに入所されている児童数見ると、大体一年生が学童全体の40%。2年生が35%位。3年生も20~30%ぐらい、4年生が今少し増えてきて、10%いくかないかかっていうようなところになってきていますね。5、6年生は本当に少数です。5、6年生それぞれ5%切る入所率にはなっていますね。 審査の仕方としましては前年度から締め切りというのを設けていて、その締切りに合わせてご申請いただいた方を、先ほど別の委員さんからもご質問いただいたんですけど、規則の中で優先順位がありまして、就労の時間や日数で点数が決まっていますので、それを点数化させていただくと、あと併せて学年の点数というのがありますので、低学年の方が高くて学年が上がるたびに点数が低くなっています。 それを合計したものを一覧にして、上から順番にというような審査の仕方です。 ただ、低学年が基本的に優先というところがありますのでまず低学年の方から審査をさせていただいて、残りの枠で高学年の審査する大まかな流れで、審査を進めているような状況です。
桑波田委員長	はい。ありがとうございます。 それでは、よろしいでしょうか。 本当にたくさんご意見いただいて前向きなご意見とかアドバイスもいただいて、来年度に向けていいスタートを切っていただきたいなと思います。 今日私たちもこの場にいるので、状況をよく知る市の立場とかそれぞれの立場を知ることができましたので、逆にまた自分たちが地域に戻ったときに、伝えることも大事な役割かと思いましたので、皆様のまたご協力よろしくお願いします。 議長からはこれで終わりますけれども、事務局の方から何かありますか。
事務局	事務局から事務連絡があります。 本日の会議録については、作成後に委員の皆様へ郵送もしくはメールで送付いたしますので、ご確認いただきまして、訂正等ございましたら事務局までご連絡をお願いいたします。 以上です。
桑波田委員長	ありがとうございます。 それでは本当に長時間にわたり皆様の活発なご意見ありがとうございました。 お疲れ様でした。また今後ともよろしくお願いします。 ありがとうございました。

